



～ 読書のすすめ ～

こんにちは。4組副担任、石田です。みなさんは読書好きですか？「本は読むべきだ」とよく言われます。本当に読んだ方が読まないよりよかったです。例えば読解力が向上します。世間では「読解力」が注目されています。共通テストの問題は読解力があることを前提に出題されます。そんな読書ですが、私は幼い頃読書が苦手でした。図書館から借りた本は図鑑やお気に入りの絵本ばかりでした。ですが今は隙あれば読書をするくらい本が好きになりました。何がきっかけで読書が好きになったのか、そのきっかけをご紹介します。

ある日の事です。私は大学1年生の時、学生寮に住んでいましたので、独りで寮内をぶらぶらと歩いていました。すると、共有スペースからテレビの音がするではありませんか。私は、ふとその場を覗き込むと、寮生たちがあるアニメを鑑賞していました。アニメといっても、国民的な知名度がある物ではありません。それは「とらドラ」というアニメでした。近くの者にそれについて詳細を聞くと、ライトノベル、通称ラノベという小説のある作品をアニメ化したものだそうなのです。私も彼らに倣って鑑賞することにしましたが、これがなんと面白いことでしょう。テンポの良い話の展開や登場人物の魅力的な個性に私は引き付けられました。私は「原作を読みたい！」という衝動にかられました。これがきっかけとなり、私の読書習慣が確立されたのです。以後、数々のラノベを読みました。さらに二十歳を過ぎた頃でしょうか。急にラノベの文章に退屈を感じ始めたので、巷で話題の小説や評論、夏目漱石などの文豪の作品などを読むようになりました。

読書は私を虜にさせます。小説を読んでいると次の展開が気になりウズウズし、いてもたってもいられなくなるのです。特に、文豪の作品の読書で感じることもありますが、日本語はこんなに美しいのかと思知らされます。流暢な敬語や舌を巻くような皮肉、読者を飽きさせない登場人物のお洒落な会話などに日本語の潜在力を感じるのです。新書やビジネス書は自分自身を俯瞰して見つめ直す機会を与えてくれます。生活や生き方に役立てられる内容の本を読み、日常生活に取り入れて自分なりにアレンジをしています。また、哲学や社会学の本は、その内容が深ければ深いほど、少しだけ賢くなった気にさせられるのです。

読書と私はまさに運命的な出会いをしたと言えるでしょう。もしもこれが「大人として」とか「常識ある人になるために」等、いわゆる意識高い系になるためだけの理由で読書を始めたら、私は読書を嫌悪したことでしょ。今のような関係は築けていません。みなさんの中にもライトノベルを読んでいる人がいます。私は良いことだと思います。文字を読み自分の中で言葉にし、概念を深めることができるからです。「なんか最近のライトノベルはつまらないな」と思うようになったら、次のステップ、文豪の小説を手に取りましょう。そしてビジネス書、新書、哲学書・・・というように読書の輪を広げていきましょう。今後、みなさんに素敵な本との出会いがありますように。



4組副担任 石田大介

6月の主な行事

- 1日(木) 衣替え
- 2日(金)・5日(月) 特別時間割(授業4校時まで)
- 7日(水) 午後合唱コンクール準備
- 8日(木) ①②授業、合唱コンクール
- 14日(水) 教育実習生との座談会
- 16日(金) 歯科検診
- 19日(月) 考查1週間前
- 24日(土) 考查前学習会
- 26日(月) 期末考查～29日(木)



～♪合唱コンクールについて♪～

いよいよ合唱コンクールが6月8日(木)ゆめはつとで開催されます。どの学年も各クラス朝や放課後、練習している様子が見られます。どんな感じになるのか、私たち担任陣も楽しみです。今年度は保護者の皆さんも入場可能ですので、ぜひお越しください！各クラスの曲目は以下の通りです。

- 1組：蕾 2組：YELL 3組：世界に一つだけの花 4組：星影のエール

祝 ～全国大会、東北大会出場!!～

5月下旬から行われている今年のインターハイ予選で上位大会へと進出した人たちがいます。

- 弓道 **金山芽衣(2-2)個人第1位 全国大会出場**
阿部友葉(2-1)個人第6位 東北大会出場
ソフトテニス **古山瑛仁(2-2)個人第8位 東北大会出場**



残念ながら結果が出なかった人たちも、努力は人を裏切りません。またすぐに福島県総合体育大会が控えていますよ！自分を信じて、練習あるのみです。頑張り！！

重要! ～大学入学共通テストにおける「情報I」の位置づけ～

2025年から大きく変化する大学入学共通テスト。そのうちの1つが「情報I」の新設です。この「情報I」(60分、100点満点)の追加により、共通テストは従来の5教科7科目から6教科8科目(1000点満点)になります。各大学の入試における「情報I」の配点は、少しずつ明らかになってきていますがまだ未確定なところもあります。情報開示されているところで、以下にピックアップして配点を載せておきますので参考にしてください。

大学名	学部	学科-コース	情報の得点
北海道札幌教育大学	教育		50
札幌校			
東北大学	全ての学部		50
宮城教育大学	教育		50
宮城大学			50、100
福島大学	人文社会学群	行政政策学類	50、100
	人文社会学群	経済経営学類	100
	人文社会学群	人間発達文化学類	50、100
	理工学群	共生システム	100
	農学群	食農学類	100
会津大学	コンピュータ理工	コンピュータ理工	100
筑波大学	人文・文化学群	人文学類	30、40、50 100

★共通テスト「情報I」の試作問題(2022年11月公表)分析から見えるポイント

- ①情報モラルを含めた思考力・判断力を問う知識が必要。
- ②全教科に通じる総合的な力が問われる。
- ③データの活用やプログラミングの実践力が必要。(試作問題ではプログラミングが配点の約半分を占めていました。)

これらから分かることは、各教科から学んだ総合的な学力に加えて、「情報I」の専門的な問題に慣れることです。学年でも各予備校などから出ている講習や模試があれば、随時紹介したいと思います。生徒の皆さんは、情報をすばやくキャッチして対応するようにしてください。